

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（5日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	流山市	代表者名	流山市長 井崎 義治
担当者部署	情報政策・改革改善課	連絡先電話番号	04-7150-6078
担当者役職	主査	担当者氏名	堤 祐樹
住所	270-0192 千葉県流山市平和台1丁目1番地の1		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	<ul style="list-style-type: none"> 標準仕様準拠に向けて市で作成した課題管理表について具体的な助言をいただけたため。 特定個人情報保護評価及び安全管理措置の観点から業務フローの見直しを行うことの重要性を教えていただけたため。 ガバメントクラウド先行事業の状況を教えていただけたため。
アドバイザーへの要望事項	令和4年度以降も継続した支援をお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年3月3日	10時00分	11時00分		60
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	住民記録グループ及び第1グループにおいて、標準仕様書との比較分析結果が業者から提出された。そこで、市で「標準準拠に向けた課題管理表」を作成したところであるが、各グループの担当部署へ展開するにあたりどのような観点から課題の洗い出しをすべきか苦慮していた。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	担当部署が「実装しない機能」や帳票等について課題を整理し、情報政策・改革改善課もシステム連携等について整理したうえで、令和6年度末まで標準仕様書へ各システムを準拠していく。また、安定稼働を最優先に、標準仕様書へ各システムを準拠したうえで、令和7年度末までにガバメントクラウドへ移行していく。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	令和3年12月に国で公表した「デジタル社会の実現に向けた重点計画」により、今後、情報システム全般でクラウド化が進む中、各業務でリスク分析を行い、セキュリティ対策を行っていくことの重要性を御教示いただいた。また、事務フローの見直しについて、特定個人情報の事務の範囲やリスク等を整理することが有用であることを御教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	各グループの担当部署がどのような観点から課題を整理していけばよいか御教示いただき、暫定的ではあるが、市としての「標準準拠に向けた課題管理表」の様式が完成できたこと。また、ガバメントクラウドの先行事業の状況や、文字基盤情報基盤の動向について御教示いただき、今後、市として進むべき方向性が明確になった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	「標準準拠に向けた課題管理表」の完成。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特定個人情報保護評価書と併せてリスク分析等を行うと同時に、標準仕様書の確認及び業務フローの整理を行っていくことについて、具体的なイメージを御教示いただけたが、各担当部署の負担や混乱がなるべく生じないように令和4年度以降どのように各グループの担当部署に展開していくかという課題がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

